

2018年10月1日

P-SELECT 試験 (WJOG10617G)

フッ化ピリミジン系薬剤を含む一次治療に不応・不耐となった
腹膜播種を有する切除不能の進行・再発胃/食道胃接合部腺癌に対する
weekly PTX+ramucirumab 療法と weekly nab-PTX+ramucirumab 療法の
ランダム化第Ⅱ相試験

に対するご協力をお願い

研究代表医師
慶應義塾大学病院 消化器内科
平田 賢郎

この度、慶應義塾大学病院消化器内科では、胃癌・食道胃接合部癌に対する新規臨床試験（P-SELECT 試験）を 2018 年 10 月 1 日付で開始いたしました。この試験は慶應義塾大学病院のほか、全国 28 施設（2018 年 10 月 1 日現在）において実施するもので、当科の平田賢郎を研究代表医師とし、西日本がん研究機構（West Japan Oncology Group: WJOG）の支援を受け実施するものです。

(jRCT ID : jRCTs031180022、<https://jrct.niph.go.jp/detail/93>)

本臨床試験は、腹膜播種を有する再発もしくは切除不能な進行胃癌または食道胃接合部癌の患者さんで、フッ化ピリミジン系薬剤（ティーエスワン®、ゼローダ®、5-FU®など）を含む化学療法をすでに行ったものの効果が期待できなくなった、あるいは副作用のために継続することが困難になった患者さんを対象としています。

募集期間は 3 年間で予定しております。本臨床試験に興味がお有りの方がいらっしゃいましたら、当院消化器内科腫瘍外来にてご相談いただけますと幸甚です。

<実施施設一覧> (2018 年 10 月 1 日現在)

下記の医療機関での実施も可能です。お気軽にお問い合わせください。

杏林大学医学部付属病院
岡山労災病院
京都市立病院

腫瘍内科
外科
消化器内科・腫瘍内科

近畿大学医学部奈良病院	腫瘍内科
近畿大学医学部附属病院	腫瘍内科
九州がんセンター	消化管・腫瘍内科
九州医療センター	腫瘍内科
九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科
恵佑会札幌病院	腫瘍内科
慶應義塾大学病院	消化器内科
虎の門病院	臨床腫瘍科
佐賀大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
佐久総合病院佐久医療センター	腫瘍内科
埼玉県立がんセンター	消化器内科
神戸市立医療センター中央市民病院	腫瘍内科
聖マリアンナ医科大学病院	腫瘍内科
石川県立中央病院	腫瘍内科
千葉県がんセンター	消化器内科
大阪医療センター	外科（消化器がん）
大阪急性期・総合医療センター	消化器外科
大阪市立総合医療センター	腫瘍内科
大分大学医学部附属病院	腫瘍内科
東京都済生会中央病院	腫瘍内科
姫路赤十字病院	内科
富山大学附属病院	第三内科
兵庫県立がんセンター	消化器内科
関西医科大学附属病院	がんセンター
大阪国際がんセンター	腫瘍内科